

# 未来子ども若者計画/概要版(案)

計画期間：2025(令和7)年度～2029(令和11)年度  
子ども基本法第10条第2項の規定に基づく「市町村子ども計画」

## 趣旨

本市では、子どもたちが自分らしくいきいきと笑顔で健やかに成長できるよう、子ども・子育てに関する政策の総合的な計画として、令和2年3月に「第2期長浜市子ども・子育て支援事業計画(以下「第2期計画」という。)」を策定し、令和6年度までの5年間を計画期間として施策を展開してきました。

その後、国においては、令和5年4月に子ども家庭庁を設置、子ども基本法を施行され、同年12月に策定された子ども大綱の中では、全ての子ども若者が身体的・精神的・社会的に幸せな状態(ウェルビーイング)で生活を送ることができる「子どもまんなか社会」の実現を目指すことを示されました。

本市においても未来子ども若者局を創設し、子ども若者の声の反映や子ども若者が地域社会に関わる機会の創出等に関する施策を構築するなど、子ども若者に関する政策の一層の拡大を図っているところです。

第2期計画の終期にあたり、本市における「子どもまんなか社会」の実現に向け、「子ども若者+大人が笑顔になる回数が増えている未来」をビジョンに掲げ、今後5年間の子ども若者政策に関する基本的な方針を示した「長浜市未来子ども若者計画(以下「未来計画」という。)」を策定しました。

未来計画では、新しく掲げたビジョンの実現に向けて、「安心」「成長」「希望」の3つのアプローチを整えることを柱に置き、各部局で実施している事業を10の施策パッケージにまとめ、幅広い子ども若者施策を総合的に推進していくこととしています。

## 数字で見る取り巻く状況

- 子ども若者人口(0-39歳)：42,311人 \* 5年間で4,878人減少
- 就学前児童人口(0-5歳)：4,656人 \* 5年間で1,050人減少
- 若年女性人口(20-39歳)：10,947人 \* 5年間で1,146人減少
- 母親の就業率：就学前児童77%/小学生児童88% \* 5年間で10ポイント増加
- 就学前教育・保育入所率：75.5% \* R2比5.1ポイント増加
- 待機児童数：子ども園等11人 \* R2比マイナス24人/放課後児童クラブ0人
- 父親の育児休業取得率：14.7% \* 5年間で14.3ポイント増加
- 妊産婦の環境や支援の安心度：59.9%
- 将来も長浜市に住み続けたい割合：中学生39%/高校生33%
- 長浜市への親しみや愛着がある割合：中学生74%/高校生69%
- 子どもの貧困率(全国データ)：ひとり親世帯44.5%/2人親世帯8.6%
- ひとり親家庭の相談件数：2,291件 \* H28比プラス約700件
- 放課後児童クラブ利用者数：2,335人 \* R2比プラス166人

## ミッション

大切にしたい考え方

(子ども若者+大人) × 長浜<sup>※1</sup> = 未来(笑顔)

=主人公(まんなか) =共演者(共に成長する人)

子ども若者が大人と一緒に長浜<sup>※1</sup>に関わることで、笑顔の回数が増え、すべての人が幸福な状態で暮らせる未来を実現します。

### ※1 長浜

には、地域/人(市民/関係人口/移住者等)/企業/学校/プロジェクト/伝統行事/イベントなど、本市固有のローカル資源の意味が込められています。

## ビジョン

実現したい未来の姿

子ども若者+大人が 笑顔 になる回数が増えている未来

ビジョンを実現するためにととのえる 3つのアプローチ<sup>※2</sup>

ライフステージ<sup>※3</sup>および多様な環境や状況に応じて必要な価値を提供する「3つのアプローチ」を整えることで、ビジョンを実現します。それぞれのアプローチには、アプローチを形成するための「施策の方向性」とそれらを具体化する「施策パッケージ」を位置づけて、横断的で総合的な取組を進めるための施策体系をととのえます。

※3ライフステージ>妊娠・出産期/乳幼児期/学童期/思春期/青年期/ポスト青年期

### ※2 アプローチ

には、特定の課題に取り組むための道すじや仕組みのほか、(子ども若者+大人)の行動を促すためのしかけ等があり、その時の状況や変化に応じてアップデートを繰り返していきます。

1

安心して暮らす=笑顔

安心して暮らせる環境をあたり前にする

### アプローチ

◆何の心配もなく、あたり前のように安心して暮らせる(遊ぶ、学べる、子育てできる等)アプローチをととのえます。

2

成長する=笑顔

いろんな経験が自信となり成長へとつながる

### アプローチ

◆今の自分が好きな子ども若者が増え、新しい自分にチャレンジできるアプローチをととのえます。

3

希望が持てる=笑顔

未来に向けて希望を持てる

### アプローチ

◆様々なことに可能性を感じ、自分の夢の実現に向けて行動できるアプローチをととのえます。

3

3つのアプローチを形成する施策の方向性と施策パッケージ

## 推進体制

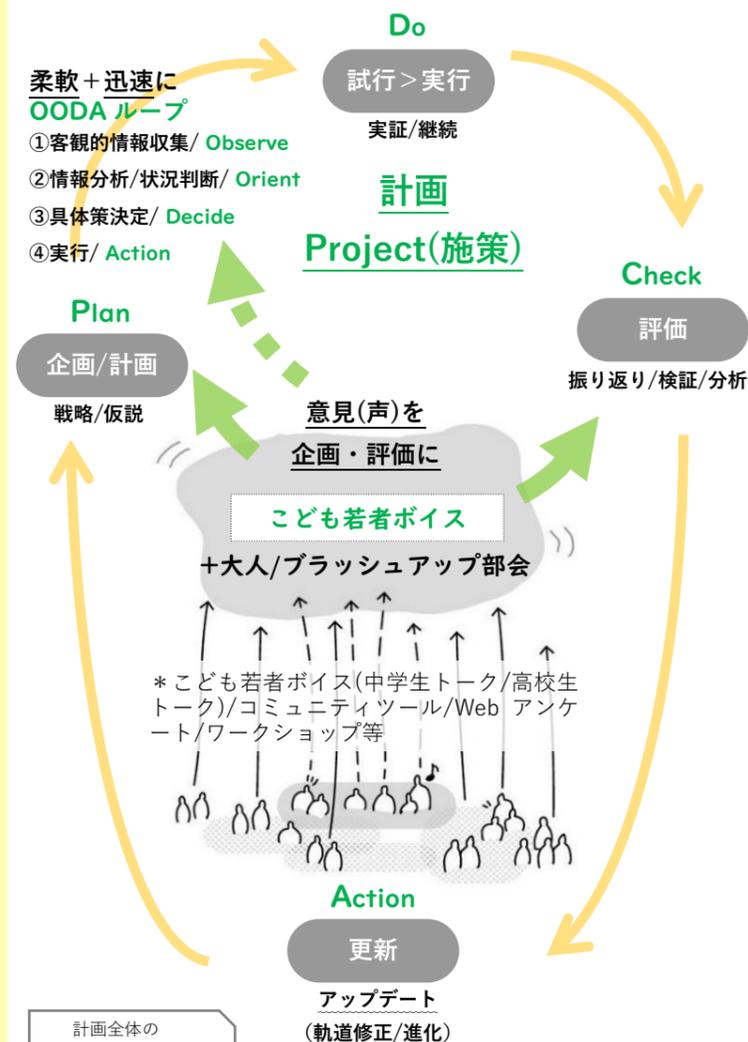
未来子ども若者会議  
未来子ども若者政策推進本部/幹事会

## 「PDCAサイクル」と「OODAループ」のハイブリッド

PDCAサイクルでの推進を基本とするものの、状況の変化に応じて柔軟・迅速に対応すべきものについては、OODA(ウーダ)ループをまわして、スピーディに対応していく。

### <優先する価値観>

- ◆子ども若者がプレイヤー(主語)という視点で考える
- ◆子ども若者の意見(声)を Plan と Check に反映させる
- ◆子ども若者と大人と一緒に取り組んでいく
- ◆アップデートを繰り返して磨きあげていく



「子どもまんなか社会<sup>※</sup>の実現に向かっている」と感じている人の割合>R6：21.7% >>> R11：70%

※感じかたの例 > 子どもと一緒に笑う回数が増えた/子どもと一緒に自分も成長できたなど

「長浜市に親しみや愛着がある」と感じている人の割合>R5：中学生73.5%/高校生68.7%/若者72.1% >>> R11：80%

大切にしたい  
**考え方**  
 (ミッション)

実現したい未来への  
**アプローチ**  
 \*下段：(評価指標(NSP\*))  
※ナガハマスマイル%(パーセント)

アプローチを形成する  
**施策の方向性**

**施策パッケージ**

10のパッケージ      主な取組内容

実現したい  
**未来**  
 (ビジョン)

(子ども若者+大人) × 長浜 // 未来 (笑顔)

// 主人公(まんなか) // 共演者(共に成長する人)

**安心** 1

安心して暮らせる環境をあたり前にする**アプローチ**

- 「長浜市で子育てしたい・子育てしてよかった」の割合 > R6:52% >>> R11:70%
- 入所希望者に占める待機児童の割合 > R6:0.31%(11人) >>> R11:0%(0人)
- 「悩み相談に乗ってくれる人がいる」の割合 > R6:小学生76.7%/中学生79.1% >>> R11:90%
- 「自分には良いところがある」の割合 > R6:小学生84.4%/中学生81%/高校生54.5% >>> R11:90%
- 「長浜市の子育て環境や支援内容に満足している」の割合 > R6:67.9% >>> R11:80%

子どもが生まれる前から小学校1年生までの健やかな育ちを支える環境をととのえる

---

すべての子ども若者が幸せな状態で暮らすことができる環境をととのえる

---

子ども若者も大人も誰かとつながり安心して過ごせる環境をととのえる

① 子どもの100か月までの育ちのサポート → 子育てコンシェルジュ(伴走型相談支援)/産後ケア/妊婦・乳幼児健診/出産育児一時金/出産・子育て応援交付金/一時預かり/誰でも通園/子育てアプリ/プレコンセプションケア/子育て応援企業登録/ブックスタート

② 就学前教育・保育の充実 → 健やかで心豊かな子どもの育成/保育者笑顔サポート(働きやすい環境づくり等)/幼保小接続/待機児童の解消

③ ライフステージに応じた経済的負担の軽減 → 医療費負担軽減/保育料減免/小学生の給食費無償/住宅取得支援/児童手当

④ 困った・悩んだときの相談支援体制の充実 → 各種相談窓口(子育て/子ども家庭/発達支援/自立/生活困窮/不登校等)の充実・見える化

⑤ すべての子ども若者の学び・育ちの応援 → 学校教育の充実/子どもの貧困対策/児童虐待防止/しょうがい児・医療的ケア児・ひとり親家庭・外国籍児童・ヤングケアラー等の支援

⑥ 子ども若者+大人の多様な居場所づくり → 多様な居場所づくり(放課後児童クラブ/子育て支援センター/子育てカフェ/フリースクール/アフタースクール/子ども食堂/図書館等)/親子教室/公園緑地の整備/親子イベント

子ども若者+大人が笑顔になる回数が増えている未来

計画全体のNSP

- 「子どもまんなか社会の実現に向かっていく」の割合 R6:21.7% >>> R11:70%
- 「長浜市に親しみや愛着がある」の割合 R5:中学生73.5%/高校生68.7%/若者72.1% >>> R11:80%

**成長** 2

いろんな経験が自信となり成長へとつながる**アプローチ**

- 「今の自分が好きだ」の割合 > R6:小学生72.1%/中学生68.5%/若者62.3%/大人66% >>> R11:80%

子ども若者と大人が世代を超えてかかわりを持てる機会をととのえる

---

子ども若者が新しい発見や経験をする機会をととのえる

⑦ 子ども若者が地域のヒト・コト・モノにかかわる機会づくり → 地域のローカル資源とカカワルプロジェクト(地域/人(市民/関係人口/移住者等)/企業/学校/プロジェクト/伝統行事/イベント)/シティプロモーション/Uターン促進

⑧ 子ども若者が多様な体験ができる機会づくり → 地域の多様な学び体験(自然/歴史/文化/ストーリー)/子ども学び座/放課後子ども教室/地域型スポーツ/ICT活用教育/ラーケーション/キャリア創造/デザイン思考/地域課題解決プロジェクト

**希望** 3

未来に向けて希望を持てる**アプローチ**

- 「将来の夢や目標がある」の割合 > R6:小学生79.6%/中学生63.8%/R5:若者59.5% >>> R11:80%

子ども若者の声が社会に反映される仕組みをととのえる

---

子ども若者がやりたいことをみんなで応援して実現できる仕組みをととのえる

⑨ 子ども若者の声を施策につなげる仕組みづくり → 子ども若者ボイス/テーマ別ワークショップ/オンラインコミュニティ/やりたいことプレゼン大会/常設意見BOX/アンケート

⑩ 子ども若者のしたい・やりたいをカタチにする仕組みづくり → アイデアをカタチにする場所(サードプレイス/Lab等)/チャレンジ応援/ガバメントクラウドファンディング/就労体験・支援/結婚支援/雇用創出/若者企画イベント